	74 2 - 2 + 5	3D 274 1-1	DD =#		- 12-44	7J -	(π ΠΖ Π			
本工学	院八王子専門	門学校 ————	開講年度	2019年度(3	平成31年度) ————————————————————————————————————	科目名	舞踊Ⅱ			
]設学科	声優・演劇	 科		コース名				開設期		
 !象年次	1年次			科目区分	必修			時間数	40時間	
 单位数	1単位			授業形態	実習					
 (科書/教材	浴衣一式、扇子、手ぬぐい									
旦当教員情										
<u>- </u>					実務経験の有	無・職種	有・舞踊乳	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
空習目的						1				
学生は舞	踊丨の授業を対	通して日本舞	踊のあらゆる	る要素を勉強	することで演	寅劇にどう関わ	ってくるかを	理解し、実践	浅してきた。舞踊Ⅱは	それの成果を
すること	を大きな目標。	として、頭で	理解してきた	ことを自分	の肉体を通し	て何の補助もな	なく人前で表現	現するスキル	ンを身に付ける。練習 ⁻	でできていて:
際本番に	なると、補助	となる見本か	がないことや特	物理的な空間	が違うこと、	人が見ている	という精神的]プレッシャ	一等により力をすべて	出し切るのは
、い。この	授業では、練	習以上のこと	は本番ではて	できないこと	と、本番でご	100%のもの	を見せるため	には練習で	120%以上できるこ	とが必要、と
考えのも	と指導し、一月	度の本番のた	めにその何値	音もの準備が	必要というこ	ことを身をもっ	て知る。			
]達目標										
导したもの	は顕れない。ノ	成果発表の時	芽期には、着1	付け・礼儀作	法・扇子の抗		てが鑑賞に耐	えうるレベ	事だけが本番で表出す ルに到達したい。また	
导したもの して技能・:	は顕れない。)知識だけでなり	成果発表の時	芽期には、着1	付け・礼儀作	法・扇子の抗	及い・舞踊すべ	てが鑑賞に耐	えうるレベ		
导したもの して技能・:	は顕れない。 <i> </i> 知識だけでなく	成果発表の時く、集団での	テ期には、着付 協調性や助り	付け・礼儀作け合う気持ち	法・扇子の抗、伝統を重ん	吸い・舞踊すべんじる心や謙虚	てが鑑賞に耐な姿勢なども	えうるレベ <i>。</i> 習得する。	ルに到達したい。また	、この授業を
寻したもの レて技能・∶	は顕れない。) 知識だけでな。 手 舞踊 の持	成果発表の限く、集団での	対には、着付け 協調性や助り がよった。 カードのは、 カーでは、 カーでは、 カーでは、 カーでは、 カーでは、 カーでは、 カーでは、 カーでは、 カーでは、 カーでは、 カーでは、 カーとは、 カーでは、 カーとは、 カーをは、 カーともは カーともは カーともは カーともは カーともは カーともは カーともは カーともももももももももももももももももももももももももももももももももももも	付け・礼儀作 け合う気持ち ものを、アワ	法・扇子の技 、伝統を重 <i>A</i> カトプットす	吸い・舞踊すべ んじる心や謙虚 る行程に切り替	てが鑑賞に耐 な姿勢なども ^{たえていく。}	えうるレベ <i>。</i> 習得する。	ルに到達したい。また 成果発表時のキャステ	、この授業を
得したもの して技能・ 教育方法等	は顕れない。) 知識だけでな。	成果発表の限 く、集団での 受業でインプ ごの実習(入	対には、着付い 協調性や助り カールできた 以場なども含	付け・礼儀作 け合う気持ち ものを、アワ (む)、実寸	法・扇子の技 、伝統を重ん カトプットす (床にバミリ	吸い・舞踊すべ んじる心や謙虚 る行程に切り替 などで個人個ん	てが鑑賞に耐 な姿勢なども [*] えていく。 [*] 人の立ち位置	えうるレベ, 習得する。 具体的には、 や入退場を記	ルに到達したい。また	、この授業を - イングやフォ の曲順での反復
得したもの して技能・ 教育方法等	は顕れない。) 知識だけでな。 知識だけでな。 毎踊 I の投 メーションで などを中心と	成果発表の限 く、集団での 受業でインプ での実習(入 ごする。別に	期には、着(協調性や助(ットしてきた 退場なども含 、着付け・礼	付け・礼儀作 け合う気持ち ものを、ア (む)、実寸 上儀作法・扇-	法・扇子の技 、伝統を重ん フトプットす (床にバミリ 子の扱い・舞	吸い・舞踊すべ んじる心や謙虚 る行程に切り替 などで個人個 録踊も鑑賞に耐え	てが鑑賞に耐な姿勢なども な姿勢なども ************************************	えうるレベル 習得する。 具体的には、 や入退場を示 こ到達するま	ルに到達したい。また 成果発表時のキャステ 気までの稽古、実際の	、この授業を ・イングやフォ の曲順での反復 ごとに稽古する
得したもの して技能・ 教育方法等 受業概要	は顕れない。) 知識だけでな。 知識だけでな。 舞踊 の投 などを中心と 舞踊 同様	成果発表の時 く、集団での 受業でインプ での実習(入 とする。別に 様に、この授	期には、着の協調性や助り かりませる。 は場ができた。 は場ができた。 は場ができた。 は場ができた。 はいている。 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいでは、 もいでは、 もいでは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。	付け・礼儀作 け合う気持ち ものを、アウ む)、実寸 、儀作法・扇	法・扇子の打 、伝統を重ん フトプットす (床にバミリ 子の扱い・舞	吸い・舞踊すべ んじる心や謙虚 る行程に切りを などで個人個ん は踊も鑑賞に耐え	てが鑑賞に耐な姿勢なども きえていく。 厚 人の立ち位置 えうるレベルに さらに成果発	えうるレベル 習得する。 は や 入 退場を か に 到達するま 表 に 向 け て ほ	成果発表時のキャステ (表す)での稽古、実際で (まで細かくセクションで	、この授業を ・イングやフォ の曲順での反復 ごとに稽古する
得したもの して技能・ 教育方法等 受業概要	は顕れない。) 知識だけでなる 舞踊 I の がっと メンどを 明 I 認識する こと	成果発表の限 く、集団での 受業で実習 イン (入 こする。別に また、一人の また。一人の	期には、着付協調性や助に ツトしてきた となけけ・礼 業独特の挨拶 行動で大勢に	付け・礼儀作 け合う気持ち ものを、アウムをの)、実寸 上儀作法・扇子の仕方や設 一迷惑のかか	法・扇子の技 、伝統を重ん フトプッドミ・ テの扱い・毎 こことのなれたのない	吸い・舞踊すべ んじる心や謙虚 る行程に切りを などで個人個ん は踊も鑑賞に耐え	てが鑑賞に耐な姿勢なども **えていく。 写 人の立ち位置 そうるレベルに さらに成果発 る。また、授	えうるレベル 習得する。 は や 入 退場を か に 到達するま 表 に 向 け て ほ	成果発表時のキャステ (成果発表時のキャステ (ます) での稽古、実際(まで細かくセクションで (まで細かくセクションで)	、この授業を イングやフォ の曲順での反復 ごとに稽古する 団プレーである
得したもの して技能・ 教育方法等 受業概要	は顕れない。) 知識だけでなる 舞踊 I の がっと メンどを 明 I 認識する こと	成果発表の限 く、集団での 受業で実習 イン (入 こする。別に また、一人の また。一人の	期には、着付協調性や助に ツトしてきた となけけ・礼 業独特の挨拶 行動で大勢に	付け・礼儀作 け合う気持ち ものを、アウムをの)、実寸 上儀作法・扇子の仕方や設 一迷惑のかか	法・扇子の技 、伝統を重ん フトプッドミ・ テの扱い・毎 こことのなれたのない	吸い・舞踊すべ んじる心や謙虚 る行程に切り替 などで個人個/ 調も鑑賞に耐え ルは遂行し、こ	てが鑑賞に耐な姿勢なども **えていく。 写 人の立ち位置 そうるレベルに さらに成果発 る。また、授	えうるレベル 習得する。 は や 入 退場を か に 到達するま 表 に 向 け て ほ	成果発表時のキャステ (成果発表時のキャステ (ます) での稽古、実際(まで細かくセクションで (まで細かくセクションで)	、この授業を ・イングやフォ の曲順での反復 ごとに稽古する
得したもの して技能・ 教育方法等 受業概要	は顕れない。) 知識だけでな。 舞踊シを のと 舞いと 舞いと のと のと のと のと のと のと のと のと のと の	成果発表の で 実 で 実 で ま っ で で ま る 。 こ 一 き は る 。 で ま る 。 し 。 し 。 も が も に 。 も が も も が も が も が も が も が も が も が も が も が も が も も が も も が も も も が も も も も も も も も も も も も も	期には、着付協調性や助に ツ退場付けである。 業独で大動に で、授業計画は	付け・礼儀作 け合う気持ち ものを、実す はの仕方や設 が必惑のかかな は成果発表のか	法・扇子重な、伝統を重なり、大体では、大体では、からないでは、からないでは、ないでは、ないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	吸い・舞踊すべ んじる心や謙虚 る行程に切り替 などで個人個/ 調も鑑賞に耐え ルは遂行し、こ	てが鑑賞に耐 な姿勢なども えのうるにないないないないないないないないないないないないないない。 ではないないないではない。 にまないではない。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなない。 はたなな。 はたなない。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたな。 はた	えうるレベ 習得する。 は や 入 退 は い し は い も う し も う は も う は も う ま す る ま す る ま ま す る ま ま て て の は る ま ま ま て の も ま ま て の も ま ま の も ま を ま ま の も る ま を ま と の も と も と も と も と も と と も と も と も と も	成果発表時のキャステ での稽古、実際で で細かくセクションで 個人プレーではなく集 分の3以上出席しないま	、この授業を ・イングやフォ の曲順での反復 ごとに稽古する 団プレーである
得したもの して技能・ 教育方法等 受業概要 主意点	は顕れないでなる 知識だけでなる 舞	成果発表の時 く、集団での 受業実実の インプ で習別に また、この人の はあってきない。 割合 80%	期には、着付協調性や助に ツ退場付けである。 業独で大動に で、授業計画は	対け・礼儀作 け合う気持ち ものを、アウ はのは、まま の仕方や設 は成果発表ので きめ、礼儀	法・扇子のが 、伝統を重ん カトポープ・パートを アンバ・・ オーマン・ 大きない。 たった。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たっ	吸い・舞踊すべ たじる心や謙虚 る行程に切り個人 のは が は が は が は が は が は き に が は き に り に し し に い る た い よ ら れ ら れ ら た い よ ら れ ら れ ら れ ら ら た ら よ ら よ ら よ ら よ ら よ よ ら よ よ よ よ よ	てが鑑賞に耐 な姿勢なども えのうるにないないないないないないないないないないないないないない。 ではないないないではない。 にまないではない。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなない。 はたなな。 はたなない。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたな。 はた	えうるレベ 習得する。 は や 入 退 は い し は い も う し も う は も う は も う ま す る ま す る ま ま す る ま ま て て の は る ま ま ま て の も ま ま て の も ま ま の も ま を ま ま の も る ま を ま と の も と も と も と も と も と と も と も と も と も	成果発表時のキャステ での稽古、実際で で細かくセクションで 個人プレーではなく集 分の3以上出席しないま	、この授業を ・イングやフォ の曲順での反復 ごとに稽古する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
教育 業 意 評	は顕れなけでなる 舞ーとと 舞ーとを 舞りを 舞りを 舞りを 舞りを 舞りを 舞りを 舞りを のかいと 一部でも 一でも 一でも 一でも 一でも 一でも 一でも 一でも 一	成果発表の時 く、集団での 受業実実の インプ で習別に また、この人の はあってきない。 割合 80%	期には、着付協調性や助り のようでは、 は場けいでは、 がまれる。 が表する。 が表する。 が表する。 が表する。 が表する。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 があ	対け・礼儀作 け合う気持ち ものを、アウ はのは、まま の仕方や設 は成果発表ので きめ、礼儀	法・扇子のが 、伝統を重ん カトポープ・パートを アンバ・・ オーマン・ 大きない。 たった。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たっ	吸い・舞踊すべ たじる心や謙虚 る行程に切り個人 のは が は が は が は が は が は き に が は き に り に し し に い る た い よ ら れ ら れ ら た い よ ら れ ら れ ら れ ら ら た ら よ ら よ ら よ ら よ ら よ よ ら よ よ よ よ よ	てが鑑賞に耐 な姿勢なども えのうるにないないないないないないないないないないないないないない。 ではないないないではない。 にまないではない。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなない。 はたなな。 はたなない。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたな。 はた	えうるレベ 習得する。 は や 入 退 は い し は い も う し も う は も う は も う ま す る ま す る ま ま す る ま ま て て の は る ま ま ま て の も ま ま て の も ま ま の も ま を ま ま の も る ま を ま と の も と も と も と も と も と と も と も と も と も	成果発表時のキャステ での稽古、実際で で細かくセクションで 個人プレーではなく集 分の3以上出席しないま	、この授業を ・イングやフォ の曲順での反復 ごとに稽古する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
教育	は顕れなけでなる 舞ーとと 舞ーとを 舞りを 舞りを 舞りを 舞りを 舞りを 舞りを 舞りを のかいと 一部でも 一でも 一でも 一でも 一でも 一でも 一でも 一でも 一	成果発表の時 く、集団での 受業実実の インプ で習別に また、この人の はあってきない。 割合 80%	期には、着付協調性や助り のようでは、 は場けいでは、 がまれる。 が表する。 が表する。 が表する。 が表する。 が表する。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 があ	対け・礼儀作 け合う気持ち ものを、アウ はのは、まず の仕方や設 は成果発表ので きめ、礼儀	法・扇子のが 、伝統を重ん カトポープ・パートを アンバ・・ オーマン・ 大きない。 たった。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たっ	吸い・舞踊すべ たじる心や謙虚 る行程に切り個人 のは が は が は が は が は が は き に が は き に り に し し に い る た い よ ら れ ら れ ら た い よ ら れ ら れ ら れ ら ら た ら よ ら よ ら よ ら よ ら よ よ ら よ よ よ よ よ	てが鑑賞に耐 な姿勢なども えのうるにないないないないないないないないないないないないないない。 ではないないないではない。 にまないではない。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなない。 はたなな。 はたなない。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたな。 はた	えうるレベ 習得する。 は や 入 退 は い し は い も う し も う は も う は も う ま す る ま す る ま ま す る ま ま て て の は る ま ま ま て の も ま ま て の も ま ま の も ま を ま ま の も る ま を ま と の も と も と も と も と も と と も と も と も と も	成果発表時のキャステ での稽古、実際で で細かくセクションで 個人プレーではなく集 分の3以上出席しないま	、この授業を ・イングやフォ の曲順での反復 ごとに稽古する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
得して 育 業 意 評価方法 の・注	は顕れなけでなる 舞ーとと 舞ーとを 舞りを 舞りを 舞りを 舞りを 舞りを 舞りを 舞りを のかいと 一部でも 一でも 一でも 一でも 一でも 一でも 一でも 一でも 一	成果発表の限 く、 業で実 でする。これで またが 割合 80% 20%	期には、着付協調性や助り のようでは、 は場けいでは、 がまれる。 が表する。 が表する。 が表する。 が表する。 が表する。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 があ	対け・礼儀作 け合う気持ち ものを、アウ はのは、まず の仕方や設 は成果発表ので きめ、礼儀	法・扇子のが 、伝統を重ん カトポープ・パートを アンバ・・ オーマン・ 大きない。 たった。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たっ	吸い・舞踊すべ たじる心や謙虚 る行程に切り個人 のは が は が は が は が は が は き に が は き に り に し し に い る た い よ ら れ ら れ ら た い よ ら れ ら れ ら れ ら ら た ら よ ら よ ら よ ら よ ら よ よ ら よ よ よ よ よ	てが鑑賞に耐 な姿勢なども えのうるにないないないないないないないないないないないないないない。 ではないないないではない。 にまないではない。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなない。 はたなな。 はたなない。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたな。 はた	えうるレベ 習得する。 は や 入 退 は い し は い も う し も う は も う は も う ま す る ま す る ま ま す る ま ま て て の は る ま ま ま て の も ま ま て の も ま ま の も ま を ま ま の も る ま を ま と の も と も と も と も と も と と も と も と も と も	成果発表時のキャステ での稽古、実際で で細かくセクションで 個人プレーではなく集 分の3以上出席しないま	、この授業を ・イングやフォ の曲順での反復 ごとに稽古する
りりうさででで <t< td=""><td>は顕だけでなす。 類がでは、 のン心に同識さどを 種・常</td><td>成果発表の限 く、 業で実 でする。これで またが 割合 80% 20%</td><td>期には、着付協調性や助り のようでは、 は場けいでは、 がまれる。 が表する。 が表する。 が表する。 が表する。 が表する。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 があ</td><td>対け・礼儀作 け合う気持ち ものを、アウ はのは、まず の仕方や設 は成果発表ので きめ、礼儀</td><td>法・扇子のが 、伝統を重ん カトポープ・パートを アンバ・・ オーマン・ 大きない。 たった。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たっ</td><td>吸い・舞踊すべ たじる心や謙虚 る行程に切り個人 のは が は が は が は が は が は き に が は き に り に し し に い る た い よ ら れ ら れ ら た い よ ら れ ら れ ら れ ら ら た ら よ ら よ ら よ ら よ ら よ よ ら よ よ よ よ よ</td><td>てが鑑賞に耐 な姿勢なども えのうるにないないないないないないないないないないないないないない。 ではないないないではない。 にまないではない。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなない。 はたなな。 はたなない。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたな。 はた</td><td>えうする。</td><td>成果発表時のキャステ での稽古、実際で で細かくセクションで 個人プレーではなく集 分の3以上出席しないま</td><td>、この授業を ・イングやフォ の曲順での反復 ごとに稽古する 団プレーである</td></t<>	は顕だけでなす。 類がでは、 のン心に同識さどを 種・常	成果発表の限 く、 業で実 でする。これで またが 割合 80% 20%	期には、着付協調性や助り のようでは、 は場けいでは、 がまれる。 が表する。 が表する。 が表する。 が表する。 が表する。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 があ	対け・礼儀作 け合う気持ち ものを、アウ はのは、まず の仕方や設 は成果発表ので きめ、礼儀	法・扇子のが 、伝統を重ん カトポープ・パートを アンバ・・ オーマン・ 大きない。 たった。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たっ	吸い・舞踊すべ たじる心や謙虚 る行程に切り個人 のは が は が は が は が は が は き に が は き に り に し し に い る た い よ ら れ ら れ ら た い よ ら れ ら れ ら れ ら ら た ら よ ら よ ら よ ら よ ら よ よ ら よ よ よ よ よ	てが鑑賞に耐 な姿勢なども えのうるにないないないないないないないないないないないないないない。 ではないないないではない。 にまないではない。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなる。 はたなない。 はたなな。 はたなない。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたなな。 はたな。 はた	えうする。	成果発表時のキャステ での稽古、実際で で細かくセクションで 個人プレーではなく集 分の3以上出席しないま	、この授業を ・イングやフォ の曲順での反復 ごとに稽古する 団プレーである
得して 育 業 意 評価方法 の・:	は顕だけでなす。 類がでは、 のン心に同識さどを 種・常	成果集 受ごする。 で実のする。 でする。 でする。 で 割合 80% 20%	期には、着付協調性や助り のようでは、 は場けいでは、 がまれる。 が表する。 が表する。 が表する。 が表する。 が表する。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 があ	付け・礼儀作けら気持ちのの)に後のと、実・扇が、大きのでは、たらのでは、大きのでは、ないでは、大きのでは、ためでは、大きのでは、ためでは、ためでは、ためでは、ためでは、ためでは、ためでは、ためでは、ため	法 京 京 京 京 京 京 京 で ま に の で で で で で で で で で で で で で	吸い・舞踊 話話の ないで ないで ないで ないで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	てな ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	えうする。	成果発表時のキャステ での稽古、実際で で細かくセクションで 個人プレーではなく集 分の3以上出席しないま	、この授業を ・イングやフォ の曲順での反復 ごとに稽古する 団プレーである

回	授業内容	各回の到達目標
1 🗓	成果発表に向けた稽古	キャスティングやフォーメーション通りに動けるようにする。すり足を徹底する。
2 回	成果発表に向けた稽古	キャスティングやフォーメーション通りに、バミリに合わせて動けるようにする。すり足を徹底する。
3 🗓	成果発表に向けた稽古	成果発表通りの音源で立ち位置・移動も確認し、礼儀作法や舞踊・着付けの精度を上げる。
4 回	成果発表に向けた稽古	全て成果発表通りの段取り、精度を上げる。周りの人の事も見えるようにする。
5 回	成果発表に向けた稽古	全て成果発表通りの段取り、精度を上げる。全体の流れ、全体の一部であることをしっかり理解。
6 回	舞踊稽古・科白(せりふ)・立回り	成果発表の曲の続き、または別の曲を稽古。科白・立回りの稽古。
7 回	舞踊稽古・科白・立回り・襷掛け	男踊り、女踊りの稽古を進めていく。科白・立回りの稽古。襷(たすき)掛け。
8 🗉	舞踊稽古・科白・立回り・手拭い	男踊り、女踊りの稽古を進めていく。科白・立回りの稽古。襷掛け。手拭いを使ったしぐさ。
9 🗓	舞踊稽古・科白・足拍子・すり足	一年間勉強したことを、末永く忘れないように反復。
10回	後期試験	一年間の集大成。